

あ ら こ う つ う し ん

新高通信



令和6年12月25日発行

第85号

秋田県立新屋高等学校

「新屋高校SSCプロジェクト」の願い

教頭 佐藤 郁子



この夏、学びのイノベーションプラットフォーム（Platform for Learning Innovation-Japan(通称PLIJ)）のサマーキャンプに参加しました。新屋高校はPLIJの特別会員に登録しています。PLIJを大雑把にひと言でいうと、「次世代の人材育成は国の将来にとって極めて重要な課題と捉え、STEAM教育の実践に社会総出で取り組む」組織です。サマーキャンプでは東京大学藤井輝夫総長をはじめ、日本経団連小路明善副会長や東京大学先端科学技術研究センター小泉悠准教授など、代表的な分野の有識者による講演を聴き、全国から参加している産・学・官・公・教の様々な方々との協議に参加しました。特に、経団連小路副会長の講演が強く印象に残り、本校の職員研修で伝達し、新屋高校が力を入れて取り組んでいる「SSC（SDGs×STEAM×Career）プロジェクト」の意義について再確認しました。

そもそも「次世代の人材育成が国の将来にとって極めて重要な課題」となっている背景には、グローバルな潮流があります。世界は「米国一極の国際秩序の時代」から「パワーバランスの多極化（もしくは無極化）の時代」へ移行しつつあり、様々なかたちで分断や対立の傾向がみられます。このような世界の中で「日本は果たして生き残れるのか」危惧されているのです。

この危機を乗り越えるためには、「文理を問わず、幅広い知識をもとに、未知の課題を発見し、その解決のために新たな価値を創造する力」が求められます。そのため、従来の「STEM(ステム)教育(理数教育)」に「A(教養)」を加えた「STEAM(スティーム)教育(Science・Technology・Engineering・Arts・Mathematics)」が推進されています。また、多様なバックグラウンドを持つ人たちと協働し、議論ではなく対話する力を身に付ける経験を積む必要があります。課題解決の過程では、デジタルサイエンスに関する知識やスキルも必要となります。

新屋高校では「本気で挑戦」を合い言葉に、「SSCプロジェクト」に取り組むなかで、失敗を恐れず果敢に挑戦するアントレプレナーシップ精神を育てています。新高生には、自分の将来に夢をもち、それに向かって未来を切り拓き、挫折をも乗り越える強さを身に付けてほしいと願っています。

2学年での取組み ～ 公開探究発表会 と 修学旅行

2年部主任 阿部 大輔

今年度、2学年は、10月末の公開探究発表会と11月の修学旅行を大きな目標として年度当初より準備を進めて実施しました。この2つについて紹介いたします。

【1】公開探究発表会（グループ発表）

今年度より、デジタル探究コースと地域探究コースに分かれて、探究活動に取り組みました。その成果発表という位置づけで、外部にも公開した発表会を開催致しました。どの発表も「地域」をベースとした実践内容を紹介し、外部講師の方からも高く評価していただきました。この発表会を通して自身の「殻」を破った生徒もおり、大きな成長の機会になったことを嬉しく感じております。来年度は、5月末ころに、全員に発表してもらう予定です。こちらも公開発表を予定しておりますので、ご都合がよろしければ、生徒の発表を聞きにお越しください！



【2】修学旅行

3泊4日の旅程で、京都、奈良、大阪、兵庫へ行ってまいりました。天気にも恵まれ、予定通り旅程を体験できました。自主的な行動、状況に応じた対応、集団で行動する上での心構えや態度など、たくさんのことを学んで帰って来ようです。この修学旅行における貴重な経験を、来年度以降に是非とも活かしてもらいたいと考えております。



新屋高校創立40周年記念式典を挙げる！

10月5日（土）、あきた芸術劇場ミルハス大ホールにおいて「秋田県立新屋高等学校創立40周年記念式典」が挙行されました。式には来賓、生徒、保護者、職員をあわせて712名が参加をしております。式においては、同窓会長の挨拶、校長式辞、来賓挨拶に続き、功労者表彰および各種の表彰者表彰を行い、最後に生徒会長がご臨席の方々への挨拶を行いました。

式に引き続き、元プロ野球選手でオリンピックに出場経験のあるG.G.佐藤（本名：佐藤隆彦）氏による記念講演会、吹奏楽の生徒と吹奏楽部同窓生と合同での記念演奏会を行いました。

式典や各種の会を通して、40年にわたる本校のこれまでの着実な歩みの歴史を確認するとともに、これからの本校の益々の活躍・発展を期待することができたと思います。



町内会と合同の避難訓練を実施しました！

9月27日（金）に今年度2回目となる避難訓練を実施しました。今回は初めての試みとして、近隣町内の住民の方々（沖田町内会の皆さん）と合同で避難訓練を行いました。想定災害は「地震→津波」とし、全校生徒と職員、近隣の住民の方々が、それぞれ普段の生活場所から津波避難場所になっている本校グラウンド（駐車場）へ避難移動することにしました。

今回訓練に参加をされた地域住民の方々の中には、お足が悪く、学校前の坂を上げるのに難儀をされていた方もいらっしゃいましたが、住民の方々の誘導を担当した生徒会の生徒の手伝いもあり、無事に坂を登りきり避難場所まで辿り着くことができました。



避難訓練を見学した秋田市西部地区サービスセンターの防災担当の方からも「県立高校と地域住民の避難訓練は秋田市内では非常に珍しい。地域の防災能力を高めるためにも、これからも続けていってもらいたい」との講評をいただきました。新屋高校では、このような地域の防災力強化の取り組みを地域の方々と一緒に進めていきたいと考えております。地域住民の方々におかれましては、これからもご理解とご協力をお願いします。

ソフトボール部 東北選抜大会優勝！！ 弓道部 東北選抜大会団体3位！個人2位！

本校ソフトボール部が、10月26日（土）～27日（日）に岩手県花巻市で行われた「第19回東北高等学校ソフトボール選抜大会」において見事に初優勝を飾ることができました。この優勝でソフトボール部は同大会における秋田県勢初の単独優勝となる偉業も成し遂げております。

また弓道部も、11月23日（土）～24日（日）青森県弘前市で行われた「第43回東北高等学校弓道選抜大会」において、女子団体3位、女子個人2位に入る活躍をしております。

